

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月29日更新

事務事業名	放課後学童保育事業				<input type="checkbox"/> マネジメント 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中村 公彦
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	木場田 可織
	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2315
予算科目	会計 一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10582	法令 根拠	合志市放課後児童対策事業実施要綱 合志市放課後健全育成事業補助金交		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑦
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	児童の放課後預かりを実施する各小学校保護者会が運営する学童クラブに対して支援(5小学校)する事業。全国的に共働きなどにより昼間親が家にいない家庭の学童を、放課後や休暇中に保育する必要性があり、昭和51年に厚生省が同事業の助成を開始し、それを受けて西合志南、東小で平成4年に合志南小で平成5年に開所した。出生や転入による人口増加、不況などの理由による母親の就労が増えたこともあり、年々、学童クラブへの申込が増えている。平成27年度4月から新たに西合志東小第4クラブが開所した。平成27年度には西合志南小第3学童クラブ建設を予定している。また、委託により、各小学校区の学童クラブでは預りが困難な夜8時までの児童の預かりをふれあい館にて実施。学童クラブがなかった西合志第一小学校校区の児童の放課後児童対策として空き教室を利用した学童クラブが始まり、その後、西合志第一小学校の低学年児童を放課後の児童安全対策の面から、立割老人館の家を活用し実施することとした。平成21年度11月からは、更に旧合志地区児童を対象とした夜8時までの預かりを行う学童クラブをJA南ヶ丘支所跡地を活用した施設で実施している。平成27年4月には学校法人が運営する学童クラブが開所されるため、委託を予定している。
【業務の流れ】	○補助金関係 ①補助金申請書受付、審査 ②補助金決定伺い ③補助金決定通知書 ④補助金交付伺い(支出負担行為、支出命令書作成) ⑤実績報告書(添付:収支精算書、事業報告書) ⑥補助金支出等審査 ⑦補助金返還命令 ⑧補助金返還受入れ ○委託関係 ①放課後児童対策事業計画打合せ、検討 ②事業施行伺い ③委託契約伺い ④委託契約締結 ⑤支出負担行為 ⑥実績報告書・請求書受付、審査 ⑦支出命令書
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料、補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市内の学童クラブ全般で申込みが増え、特に西合志南小と西合志中央小が手狭になっており創設の要望があがっている。西合志南小は平成27年度に第3学童クラブの建設を予定しているが、中央小についても建設に向けて具体的な検討を早急に進める必要がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
補助金事業については、西合志東小第3学童クラブが発足し、保護者会が運営する学童クラブ11団体に国基準に基づいて、預り児童人数に応じて運営補助金の支払を行った。委託事業3クラブ(キッズ・びーす・くすの木)については、合志市社協へ委託により実施した。開所時間延長支援事業を8クラブが実施し、補助金を支払った。	保護者会が運営する学童クラブに国基準に基づいて、預り児童人数に応じた運営補助金の支払いを行う。また、合志南小学校の多目的室を借りて保育を実施している合志南小第3学童クラブが、学校の教室不足により工事を行うこととなり、継続して使用することができないため、教室を再使用できるまでの期間は賃借により学校敷地内にレンタルハウスを建設して対応を行う。また、西合志中央小学童クラブについても引き続き学校のランチルームの使用をお願いしている。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
→ア:学童保育の登録児童数	①国基準額改定及び西合志東小第4学童クラブ及びD・Gクラブ開設に伴う補助金等の増額②開所時間延長支援事業実施クラブの増に伴う補助金の増③合志南小レンタルハウス賃借料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
小学校低学年の児童(平成27年度からは6年生までの児童が対象となる)	→ア:小学校1~3年までの児童数
	→イ:市内小学生の数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・仕事と子育ての両立ができる。 ・児童の健全育成ができる。	→ア:学童保育の延べ利用児童数
	→イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 事業量を図るため延べ利用数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
①	活動指標	人	540	604	780	740	860	900	900	900	
②	対象指標	人	2,027	2,093	2,100	2,171	0	0	0	0	
		人	0	0	0	0	2,200	2,250	2,250	2,250	
③	成果指標	人	115,313	131,764	135,000	163,521	180,000	185,000	190,000	190,000	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円					7,800			
		都道府県支出金	千円	27,145	30,899	34,746	42,652	52,745	34,000	34,000	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	15,173	17,855	21,082	24,616	38,347	20,000	20,000	
	(A)事業費計	千円	42,318	48,754	55,828	67,268	98,892	54,000	54,000	0	
	(A)のうち指定経費	千円	0	21	17	16	19	25	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	21	17	16	19	20	20	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	3	3	3	3	3	0
	延べ業務時間	時間	420	400	0	480	0	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	1,709	1,593	0	1,912	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	44,027	50,347	55,828	69,180	98,892	54,000	54,000	0	

事務事業名	放課後学童保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 補助金等の事務手続きについて滞りなく進めることができ、概ね目標を達成することができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 合志南小学校は工事が完了するまではレンタルハウスにて対応を予定している。補助金についても滞りなく支払いを予定している。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 地域の特性にあわせ補助事業並びに委託事業の形態をとっているが、特に保護者会運営主体への指導等により、効率的な運営ができる向上の余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 この事業に類似する放課後子ども教室(文科省)があるが、本市においてはその実態がなく統廃合する事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国が規定する基準が設けてあり、今後、放課後児童健全育成に行政として果たす役割が大きくなるため事業の削減は出来ない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低事務量で行っている。平成27年度は子ども・子育て支援新制度に伴い事務量が増える可能性がある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 本事業の対象は市内の小学生で、かつ放課後の時間帯に就労等の理由で家に保護者がいない児童と決まっているため、公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が規定する事業であるため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>開発による人口増や不景気による共稼ぎ世帯の増加により、益々学童クラブに対する需用が増加することか予想され、より効率的な運営が望まれている。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						